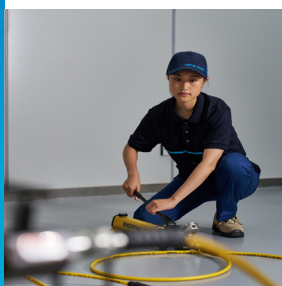


タンクスケール校正の簡素化



Tank Scale Calibration

RapidCalは、タンク/反応槽/ホッパー/サイロスケールの校正に最適なメソッドです。この方法はトレーサブルで認証可能でありながら迅速なため、生産のダウンタイムを最小限に抑えられます。この機器はポータブルで、はかりの汚染のリスクがありません。



すばやい校正

RapidCalタンクスケール校正装置は非常に持ち運びやすく、準備に必要な時間や使用のための労力は最小限です。設置と校正がすばやく行われるため、年間を通じてダウンタイムが削減されます。



さらなる正確性の追求

油圧シリンダーによって加わる校正力、標準の点検用分銅とのトレーサビリティが確保できる高精度の基準ロードセルによって測定されます。このプロセスでは通常の計量と同様にはかりを引き下げるため、配管の影響は自動的に考慮されます。



コンプライアンス

定期的に再校正を行い、トレーサブルな校正証明書を発行することにより、特別な労力をかけずに品質システムに確実に準拠することができます。RapidCalにより、業界の規制や定期的な監査も満たすことができます。



Rapidcal

迅速で正確

時間とコストがかかる校正メソッドに依存する必要がなくなり、正確さとトレーサビリティの結果が不確かになることはもうありません。メトラー・トレドの革新的なRapidCalメソッドでは、経済的で迅速な校正が可能です。この校正方法はトレーサブルでもあり、点検用分銅や精製液を使わず、はかりのコンタミネーションのリスクもありません。

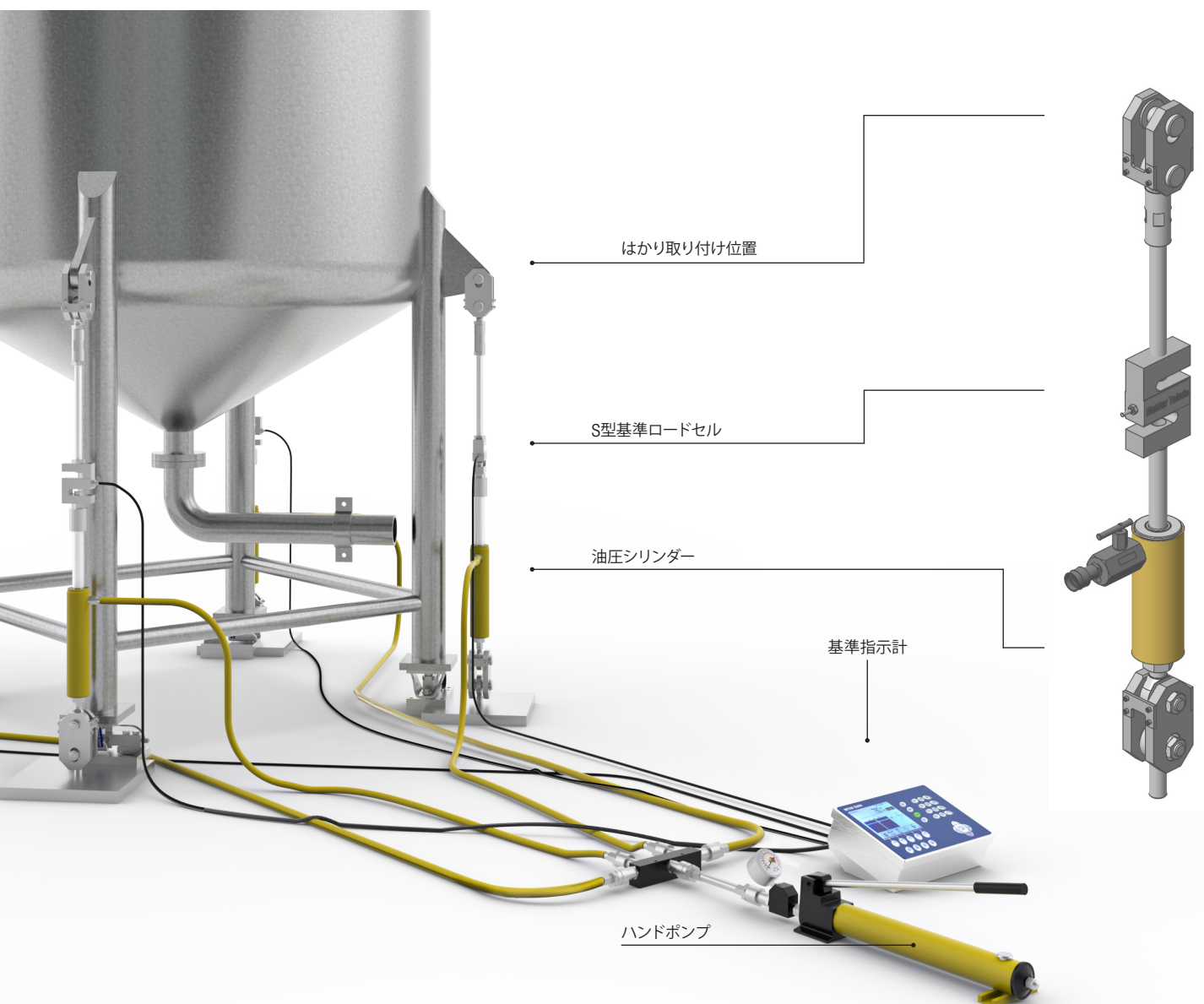
RapidCalの特長:

- 0.5 t~32 tの範囲での高精度なフルスケール校正
- 迅速な校正プロセスによりダウンタイムを最小化
- かさばる点検用分銅は不要
- 精製水や校正済みの流量計は不要
- タンクが開かれないため、コンタミネーションリスクがありません
- SI質量単位へのトレーサビリティ
- 社内品質システムとの互換性
- 最小限の労力でプロセスの安定性を保証
- 一部の国でISO17025認定校正サービスとしてご利用いただくことも可能

技術仕様

スケールのひょう量	0.5 t～32 t
達成可能な校正の精確さ	0.5 t～1 tの荷重: 0.29% 1 t～4 tの荷重: 0.12% 4 t～32 tの荷重: 0.072%
トレーサビリティ	SI質量単位に対してトレース可能
校正温度範囲	0～40 °C
はかりの取り付け	圧縮/張力式はかりをコンクリート製の床、スチール製構造体、またはメザニン製の床に取り付け
油圧油	食品グレード
危険場所に関する認証	Div. 2 (FM)、Zone 2/22 (ATEX、NEPSI)

RapidCalの設定



RapidCalナレッジベース



RapidCalの導入: 革新的なタンクスケール校正方法

RapidCalと従来の流量計校正との比較をご覧になり、お使いのタンクをRapidCal対応にすることでそのメリットを実感してください。

▶ <https://www.youtube.com/watch?v=gnWjzSCqGaM>



RapidCalの概要: 分銅を使用しない校正のプロセスとメリット。

精確さのレベルを刷新し校正コストを大幅に削減するRapidCal校正の実施方法をお確かめください。

▶ <https://www.youtube.com/watch?v=6BzyngnXC48>



ホワイトペーパー: タンクスケールの校正方法

このホワイトペーパーでは、6つの一般的なタンクスケールの校正方法について、実際の使用事例を通して各方法を説明します。

▶ www.mt.com/ind-tankscalecalibration